



にゅーすれたーふじやま・長泉

小さな活動が大きな輪に！



2014. 2

シヴィライ村での昼食会

パナソニックエイジフリー介護チェーン

「心通い合う多文化共生のまち“ふじ”」の実現に向けて！

2月2日（日）ふじさんメッセで、富士市と富士市交流協会主催の「第26回国際交流フェア」が開催されたので参加してきました。国際交流団体による活動の紹介、日本文化・工芸体験、民族衣装の試着、世界の料理コーナー、世界の踊り（ステージアトラクション）、友好・姉妹都市の紹介、外国人のための法律相談及び健康相談など盛りだくさんの楽しいプログラムで構成されたフェアです。特に感心するのは「彩の会」着付けボランティアによるファッションショーで、30名程の外国人がモデルになっての着付けショーです。ほとんどが振袖ですが、七五三のお宮詣りの晴れ着（家族全員）や新郎新婦に扮した外国人など、きらびやかな衣装に場が盛り上がりました。その中に弊社に10年以上勤務しているホセ（中央の新郎）の姿があって、びっくりしました。ホセはペルー人でとてもまじめなイケメン紳士です。ホセの奥さんも明るく料理上手で、私の家にもお菓子を作ってはふたりで届けてくれます。日本人でさえも嬉しいのに外国人なら余計良い思い出になると思います。インターネットも普及しているので、ペルーにいるホセの家族も見て、喜んでくれていると思います。



今回の私のもうひとつの目的は、ベトナム人と出会うことでした。プログラムを見てもベトナムという文字が出てないので落胆しながらファッションショーを見ていると、その中にひとり振袖姿のベトナムの女性がいました。すかさず彼女に会い、話をしたところ彼女の夫を紹介されました。アンさんという31歳の青年で国へ子どもを置いて日本へ実習生として来日、富士市の大手の企業で働いているとのことでした。メールアドレスを交換し合い後日会う約束をしました。なぜ、ベトナムか。。。以前にも書きましたが、我が家では富士吉原ライオンズクラブから依頼され多くのベトナムの学生をホストしました。今では過去にホストしたニャンさんにラジエールバッグを作ってもらったり、ストールやスカーフをチャリティー用に寄付してもらったりしています。震災の時には多くのブランケットの寄付もありました。ベトナム大使館にも招かれ、フン大使ご夫妻から何度も「ベトナムをよろしく」と



と言われていました。しかし何から始めて良いのかわかりません。。。社内で話し合った結果、まずは工場の実習生の受け入れから始めてみようということになりました。それには富士市のベトナム人の状況を把握することが必要だと判断して国際交流フェアに臨みました。運よくアンさんとの出会いが実現したのでした。

子どもたちに絵本の読み聞かせをする安井さん



◇先日ラオス（シヴィライ村）を訪問しました。首都ヴィエンチャンから車に揺られて3時間。。。安井清子さんの案内で7年前に国際ソロプチミスト富士が寄贈した図書館を視察しました。毎年、図書の寄贈もしていますが、貧しい村のため小学校には天井もありません。その会場で村人による昼食会が行われ大歓迎を受けました。餅つきをしたり、楽しいひとときを過ごしました。その夜は大使館の中村一等書記官からラオスの国の様子をお聞きしたり、日本サッカー協会の関口さんにお会いしたりと実り多いラオス訪問となりました。小さな活動から大きな輪が広がる予感に胸を膨らませながら帰国しました。



渡邊啓視